

## ○議案に関する説明資料

### 第1号議案 令和7年度事業報告について(資料 No.1)

#### <議案の概要>

令和7年度の事業実施状況について報告し、承認を受けるものです。

#### <「令和7年度 事業報告」の主な概要>

1 令和7年度事業実施計画に基づいて、以下の事業を行いました。

- ・厚生労働省の登録個別・型式検定機関として13品目の検定  
このうち、新規検定については昨年度あった大量申請がなくなったことから、処理件数が前年度比48%減となりました。
- ・厚生労働省等からの受託事業  
厚生労働省からの令和7年度の委託事業として1件の買取試験事業（呼吸用保護具）を受託し、報告書を納品し、終了しました。また、買取試験事業の他、呼吸用保護具関係の事業を3件受託し、報告書を納品して終了しました。
- ・防爆機器、乾式安全器及び合板足場板を対象としたTIIS認証  
令和7年度から開始したTIIS認証について認証書の発行実績が55件となりました。

上記のほか、

- ・登録適合性証明機関としての機能安全証明業務
- ・化学物質、静電気、機械器具、呼吸用保護具・防護服などの性能試験
- ・マスクフィットテスト及び関連セミナーの実施 等

について実施しました。

2 令和6年度に組織・体制を一部見直しました。

試験認証部防爆グループの分室を大阪に開設していましたが、在宅勤務者を3名採用し、立会試験要員が充足したため、5月に廃止しました。

3 新規職員の採用を目指し、大学訪問、会社説明会などの活動を実施した結果、4名の採用内定者を確保することができました。引き続き来年度も採用活動を行います。

4 定時総会において退任理事2名、新任理事2名が承認されました。その他の理事は全員再任され、合計の理事数は21名となりました。

## 第2号議案 令和7年度決算報告について（資料 No.2）

### <議案の概要>

令和7年度の決算について報告し、承認を受けるものです。

### <「令和7年度 決算報告」の概要>

#### ≪収支計算書の概要（2-1 ページ～2-3 ページ）≫

#### I 事業活動収支の部

##### 1 事業活動収入

合計は5億6,007万3千円余（対予算額 5,635万6千円余の増）となりました。

主な内訳としては事業収入のうち、

○検定収入：3845万4千円余（対予算額 1,245万4千円余の増）

○認定・性能試験収入：1億4,827万8千円余（対予算額 4,027万8千円余の増）

となりました。

##### 2 事業活動支出

事業費支出（公益目的事業会計に相当）は5億6,022万6千円余（対予算額 1,488万円余の減）となりました。

主な内訳としては、役員報酬支出が554万円減少したこと並びに給与手当支出が954万円減少したことなどでした。

管理費支出（法人会計に相当）は3,944万7千円余（対予算額 513万円余の減）となりました。

事業活動支出計は5億9,967万3千円余であり、事業活動収支差額はマイナス3,959万9千円余（対予算額 7,636万7千円余の増）となりました。

#### II 投資活動収支の部

##### 1 投資活動収入

特定資産取崩収入など投資活動収入は合計で9,702万9千円余となりました。

##### 2 投資活動支出

「特定資産取得支出」のうち、「減価償却引当資産支出」につきまして、令和7年度は引き当てないこととしました。その結果、投資活動支出計は9,519万9千円余となりました。

### Ⅲ 財務活動収支の部

令和7年度においては該当がありませんでした。

以上により、次期繰越収支差額は1億3,962万7千円余（対予算額1億5,405万3千円余の増）となりました。詳細は、「収支計算書に対する注記」（2-6ページ）の内訳をご覧ください。

#### ≪貸借対照表（2-7～2-8ページ）≫

##### I 資産の部

###### 1 流動資産

現金預金や未収金などの流動資産は合計で3億1,353万円余（対前年度2,075万9千円余の減）となりました。

###### 2 固定資産

特定資産5億1,585万4千円余と、その他固定資産7億9,973万3千円余の合計が13億1,558万7千円余（対前年度6,519万4千円余の減）となりました。

その結果、資産合計は16億2,911万8千円余（対前年度8,595万3千円余の減）となりました。

##### II 負債の部

###### 1 流動負債

預り金や賞与引当金など流動負債は合計で1億7,077万7千円余（対前年度1,679万2千円余の増）となりました。

###### 2 固定負債

退職給付引当金などの固定負債は合計で1億7,644万8千円余（対前年度1,034万9千円余の減）となりました。

その結果、負債合計は3億4,722万5千円余（対前年度644万2千円余の増）となりました。

##### Ⅲ 正味財産の部

一般正味財産の合計が12億8,189万3千円余（対前年度9,239万6千円余の減）となりました。

その結果、負債及び正味財産合計は、16億2,911万8千円余（対前年度8,595万3千円余の減）となりました。内訳は、2-18ページからの財産目録に記載しています。

《正味財産増減計算書（2-9ページ～2-11ページ）》

I 一般正味財産増減の部

1 経常増減の部

(1) 経常収益

事業収益や受取会費などの経常収益は合計で5億6,007万3千円余（対前年度1億561万6千円余の減）となりました。

(2) 経常費用

事業費（公益目的事業会計に相当）は6億1,175万5千円余（対前年度1,550万4千円余の減）、管理費（法人会計に相当）は4,076万9千円余（対前年度80万9千円余の増）となり、合計は6億5,252万4千円余（対前年度1,469万円余の減）となりました。

これらにより、当期経常増減額はマイナス9,245万1千円余（対前年度9,092万1千円余の減）となりました。

III 正味財産期末残高

12億8,189万3千円余（対前年度9,239万6千円余の減）となりました。これは、2-19ページの財産目録最下段と一致しています。

《財務諸表に対する注記（2-14ページ～2-16ページ）》

「継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象または状況は存在していない」ことを記載しています。

第3号議案 役員候補者の選任について（資料No.3）

<議案の概要>

「役員候補者名簿」に記載のとおり、現在の理事21名のうち2名が人事異動等により退任されます。このうち1名は後任者を理事（非常勤）として選任いただきますが、もう1名は辞退されたため後任者は不在となります。

また、今回選任される1名の任期は次期改選期までの1年間となり、選任された場合は理事の数は20名（前年度から1名減）となります。（定款第21条により、理事の数は18名以上、25名以内とされています）

なお、今回は改選期ではありませんので、新任の理事以外の方は全員継続されることとなります。

## ○報告事項に関する説明資料

### (1) 令和 8 年度事業計画

政府の経済見通しによると、令和 8 年度は所得環境の改善が進む中で、各種政策効果も下支えとなり、個人消費が増加するとともに、危機管理投資・成長投資の取り組みが進展する中で設備投資も増加するなど、引き続き、国内需要中心の経済成長となることが期待されます。このように国の経済成長は期待されるものの昨年度の実績からも想定できるように協会の業績に与える影響は限定されるとして、令和 8 年度事業見通しは昨年度並みを見込んでいます。厚生労働省からの委託事業については呼吸用保護具の買取試験は維持されるものの委託費の減額が予定されています。TIIS 認証については、品目が追加され、特に防爆要員力量認証については、一定の申請が見込まれます。検定及びその他の業務については、手数料の値上げにより収益改善を見込みます。部門ごとの収支の黒字化を目標に掲げつつ、コストカットによる収益の改善に務めます。また、2021 中期目標については概ね目標を達成したことから、新たな中期目標を策定して取り組みます。

### (2) 令和 8 年度収支予算書

事業計画に沿い、前年度の決算状況等も踏まえて作成しました。

### (3) 資金調達及び設備投資の見込みについて

令和 8 年度に借入れの予定はありません。設備投資に関しては、試験設備等の購入を「減価償却引当資産」や「新規事業推進設備等整備資金」の取崩しにより行うこととしています。